

明日から臨床ですぐ使える根管治療の基礎知識・テクニックを身につけましょう

—早くて正確な失敗のない治療で患者さんに高度な歯科治療を提供できます

講師：日本大学松戸歯学部歯内療法学講座 准教授 辻本恭久

講師略歴：

1979年 日本大学松戸歯学部卒業
1983年 日本大学大学院松戸歯学研究科修了(歯学博士)
1983年 日本大学松戸歯学部歯科保存学Ⅲ教室 助手
1986年 日本大学松戸歯学部歯科保存学Ⅲ教室 専任講師
1987年 米国フォーサイスデンタルセンター 客員研究員
2005年 松本歯科大学保存学第二講座 教授 (非常勤)
2006年 日本大学松戸歯学部歯内療法学講座 助教授
2007年 日本大学松戸歯学部歯内療法学講座 准教授

資格等：日本歯科保存学会保存治療指導医、日本歯内療法学会認定指導医
日本顕微鏡歯科学会認定指導医 事務局長、次期学会長(2011～)

セミナー内容：

歯内療法を行うためには、歯の解剖学的形態と根管系の形態を熟知する必要があります。

歯の立体画像を利用して、各歯種の解説を行い、実際に臨床と同じスタイルのマネキン顎模型に植立した、リアル人工歯と抜去歯をアクセスオープニングすることで、根管の形態とアクセス法の基本をマスターしていただきます。

具体的には、回転切削器具によるアクセスオープニング、超音波チップを使用した根管口拡大、根管中央部までの拡大、そして、Ni-Ti File を使用した根尖側1/3を拡大していく方法の詳細をマスターすることで、早くて・安全で・正確で・失敗のない根管治療を明日からの臨床で行うことが可能になります(天蓋を残してしまったり、穿孔してしまったり、根管口が見つからないといった失敗がなくなります)。

近年、マイクロスコープが歯科治療に使用されるようになり、肉眼による直視だけでは不可能だった、正確な診断が行えるようになってきました。また、適切な治療を行うために、マイクロスコープ用治療器具が次々に開発されています。

マイクロスコープ治療を行うための、機器・器材の有効的使用法を、スライド、動画を使用して解説し、前述のように、実際に臨床と同じスタイルで実習を行っていただきます。そして、明日からの臨床にすぐに役立つテクニックを取得していただきます。また、歯内療法の偶発症に対処する手段として、近年開発されたMTAの基本的情報と臨床における使用法を解説し、実習していただきます。

開催日程

~~平成22年1回目：10月3日(日) 2回目：11月7日(日) 3回目：12月5日(日)~~ 終了しました

平成23年4回目：1月9日(日) 5回目：2月6日(日) 6回目：3月9日(日) 7回目：4月3日(日)

各回タイムスケジュール

9:00～12:00 1)根管系の解説 2)アクセスオープニングと根管系の拡大 3)Ni-Ti File を用いた根管拡大形成

13:00～16:00 4)マイクロスコープの基本的操作法、マイクロスコープを使用した診療システム
5)マイクロスコープ用器具を使用した根管治療 6)Obtura IIによる垂直加圧根管充填
7)根管破折器具の除去 8)MTAの解説ならびに実習

定員5名 (定員になり次第締切らせていただきます)

※ 顕微鏡治療の実際的な事を行いますので、アシスタント同伴でご参加ください。

※ 費用など、詳細はお問い合わせください。

場所：成城デンタルクリニック 東京都世田谷区成城2-10-8 SDCビル1F 院長 黒田善久
お問い合わせ・申し込み先： 成城デンタルクリニック ☎03-3415-4887